

令和2年度予算 新規・充実事業一覧

(単位：千円)

行財政局予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
(充実) 芸術大学移転整備事業	<p>建学以来140年にわたり、国内外の芸術界や産業界で活躍する人々を輩出し、文化芸術の発展に貢献してきた京都市立芸術大学を、京都の玄関口である京都駅東部エリアへ移転整備し、世界に冠たる芸術大学としてより一層の飛躍を果たすとともに、京都駅東部エリアに「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生する。</p> <p>令和2年度は、平成29年度に策定した基本計画及び令和元年度に完了する実施設計に基づき、令和5年度の供用開始を目指して、建設工事に着手する。</p>	2,468,000	総務課 222-3045
(新規) 芸術大学における新たな授業料等減免制度の創設(高等教育の就学支援制度)	<p>住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯からの高等教育機関への進学を支援するため、給付型奨学金と授業料等減免を合わせて措置する「大学等における修学の支援に関する法律」が、令和2年4月から施行される。</p> <p>本法律の施行に伴い、京都市立芸術大学において、授業料等減免制度を実施する。</p>	83,200	総務課 222-3045
(充実) ICT等を活用した働き方改革推進事業	<p>少子高齢化に伴う労働力人口の減少、育児等で時間に制約のある職員の増加等が課題となる中、以下の取組による徹底的な業務効率化を行い、生産性の向上と高付加価値業務の強化、時間に制約があっても、職員一人ひとりが持ちうる能力を余すことなく発揮できる職場環境づくりに取り組み、複雑多様化した行政課題の対応など、市民サービスの更なる向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単純かつ定型的な作業について自動化する「RPA(ロボット・プロセス・オートメーション)」及び手書きや印刷された紙文書をイメージスキャナ等で読み取り、データ化する「AI-OCR」の本格導入</li> <li>・AIを活用して会議録作成の自動化を図る会議録作成支援システムの継続実施</li> <li>・移動中や外勤先など、執務室以外の場所でも業務を遂行できる「モバイルワーク」の試行実施 など</li> </ul>	39,800	人事課 222-3050
(新規) 円滑かつ迅速な避難行動の推進及び情報発信の充実	<p>近年の大規模災害を踏まえ、災害時の被害を最小限に抑えるため、市民等の円滑かつ迅速な避難行動の推進と適切な情報の発信の充実に向けて以下の取組を行い、災害対応力の更なる向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ「京都市防災危機管理情報館」のスマートフォン表示対応、GPS連動による現在地表示対応、多言語化等による情報発信の充実</li> <li>・防災関係機関が災害時に取り組む防災行動を時系列でまとめて共有する「タイムライン」の作成</li> <li>・市民一人ひとりが自らの避難行動を予め決めておく個人の防災計画の作成支援</li> <li>・水害ハザードマップの想定浸水深等の情報を地域の建物等に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の設置</li> <li>・災害発生時に開設される指定緊急避難場所等においてより円滑な避難行動を誘導するための標示板を設置</li> <li>・緊急避難広場等への新たな情報通信端末の配備</li> </ul>	66,900	防災危機管理室 222-3210
合 計		2,657,900	4件